

平成28年度第4回 鹿児島市清掃事業審議会 概要

1 開催日時

平成28年8月26日（木） 10:00～11:15

2 開催場所

本庁西別館4階第1委員会室

3 出席者

(1) 審議会委員（11名）

井上委員（会長）、内委員、榎本委員、上水樽委員、瀧川委員、内匠委員、田尻委員、藤安委員、三原委員（副会長）、宮竹委員、向段委員

(2) 事務局（9名）

環境局長、資源循環部長、資源政策課長、廃棄物指導課長、清掃事務所長、北部清掃工場長、南部清掃工場施設整備係長、資源政策課管理調整係長、同課ごみ減量推進係長

4 次第

(1) 議事

①報告事項

家庭ごみの減量化・資源化の推進（答申を受けての今後の対応）について

②審議事項

一般廃棄物処理基本計画平成28年度改訂版（素案）の主な内容について

③その他

5 審議事項の概要

(1) 議事

①報告事項

家庭ごみの減量化・資源化の推進（答申を受けての今後の対応）について

②審議事項

一般廃棄物処理基本計画平成28年度改訂版（素案）の主な内容について

③その他

発言者	発言内容
会長	報告事項「家庭ごみの減量化・資源化の推進」について、事務局に説明をお願いします。 【(1)報告事項 家庭ごみの減量化・資源化の推進(答申を受けての今後の対応)について】
事務局	配布資料「ごみの減量化・資源化の推進について」を説明（約7分）

発言者	発言内容
委員	<p>市民意識の向上策の①の住民説明会について、会場は校区公民館とされているが、体育館を借りられる形にし、自治会長が呼びかけ、一人でも多くの市民が参加できるようにしてはどうか。校区公民館は50人が精いっぱいだと思われる。また、アプリの配信についてだが、分別すべき物の名称が分からないので、文字検索できない人用に利用者が写真を撮って送り、配信元に判断してもらうアプリを開発してはどうか。</p>
会長	<p>市として今後取組む様々な提案があり、それに対して委員からご発言いただいたところだが、市の方としても柔軟に対応していただきたいと思うところであるし、そのアプリの件に関しても、当初は対応できないとしても、時間をかけながら、対応できるようにしてもらえればありがたいと思う。また、写真を撮り送って専門の人に見てもらい、対応してもらおうと助かると思う。高齢者も増えており、高齢者がスマートフォンを使いこなせるかという問題もあるが、若者でも同じものかもしれない。</p>
委員	<p>廃品回収活動で、小学校、中学で回収できない物が、別の団体では回収できるケースがある。組織が違うから、そのような違いが出ているのか。</p>
事務局	<p>町内会、小学校、中学校、スポーツ少年団など様々な団体にこの活動に参加してもらっているが、回収された品を処理する業者の違いで、一部品目に差が生じることがある。市としても、一つでも多く回収できるようにしたいが、今現在このような状況になっている。</p>
委員	<p>市としては、町内会とかスポーツ少年団とかりサイクル活動をしているところとの連絡体制というのは確立されていると理解してよろしいのか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>全国の中核市との差が1人あたりのごみの排出量で100グラムもあるときいて結構な量だと思った。総量を減らすのはもちろん大切であるが、環境に優しい時代を生きるためには、市民一人一人がごみを減らす努力をするという点で、我々は努力が足りないという部分がある。意欲的な数値目標を掲げ、中核市としてふさわしい数値を実現したいと様々な手段を使っていくとのことだが、見通しはどうか。</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>5分の1近く落とすということでハードルは高い。家庭から出される燃やせるごみ、燃やせないごみについて、間違っただけのものが出されていないかの組成調査をすると、誤ったごみがかなりある。分別を徹底するだけでも、この100グラムに近い数字が減るような状況だ。市民の方にこの分別の徹底をしていただくことで、100グラムの目標は達成可能であると思われる。また、市としては新しい施策として、金属類の資源化の取組を検討しているが、それは1人当たり10グラムに相当する減量効果につながる。そういうものを複合的に組み合わせると、達成不可能な数字ではないかと考えている。</p>
委員	<p>去年の委員さんの意見で、水切りを徹底すればグラム数に換算して、結構効果があるとのことだったが、どう考えるか。</p>
事務局	<p>燃やせるごみの中で一番割合が多いのは生ごみで、けっこう水分を含んでいる。水を半分くらい落とすだけで40グラム落とすことができる。つまり、水きりだけで目標値の半分近くが減るので、説明会などでは徹底していただくよう、お願いするつもりだ。</p>
委員	<p>面倒ではあるが、それを徹底するだけで大きな減量につながるのであるならば、住民のご理解を得る広報活動として、住民説明会の中心的な話題の一つとなるだろう。</p>
委員	<p>中核市の平均値との差は100グラムとのことである。中核市と、その内容物の違いの調査結果は出ているのか。また、13の中核市の有料化していることのほかに、収集体制とか分別方法とかあったら、教えてほしい。</p>
事務局	<p>中核市にかかわらず、他都市と鹿児島市とごみの内容を比較すると、鹿児島市は草木類が多い。また、今回は燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみで比較しているが、ごみの内容に、ごみを有料化している中核都市との違いはないと考えている。ごみを減らすという意味で、他の中核市のごみ出しカレンダーやパンフレットと本市で大きな違いはないと思われます。</p>
委員	<p>100グラムをどうやって減らしていくかという話の中で、水切りで40グラム減るということであつたが、雑古紙なども啓発候補とすれば、かなり減っていくと思う。</p>

発言者	発言内容
会長	<p>数値目標達成するためのアイデアをいただいていますので、市当局としては、それを踏まえて目標達成に努めていただけたらと思う。</p>
委員	<p>住民説明会の実施方法について、どういう案内の仕方をする予定なのか。</p>
事務局	<p>校区公民会はすでに予約もしてある。住民説明会の日程等も固まってきた。今後それを皆様にどうお伝えするかと、市民のひろばに全開催場所と開催時間を載せるのはもちろんのこと、全町内会長校区運営審議会の方などに時間を知らせたいと思っている。</p>
委員	<p>一律に校区公民会ではなく、通いやすい会場を選択するというのも一つの方法ではないか。</p>
事務局	<p>予約をしてしまっているが、更に他のところでもやりたいなどの、申し出があれば、全て受けるつもりである。</p>
委員	<p>ごみ分別アプリを活用するというのであれば、説明会に大学とか短大も加えていただければと思う。</p>
委員	<p>中国語版と英語版のパンフレットのようなものを作成してもらえれば、留学生にもごみの分別に協力してもらえるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>今回作るアプリは中国語、韓国語、英語、日本語の4か国語対応といる。ごみの出し方が分からない場合について、現在でもパンフレットを多国語で用意している。今後も留学生の方たちにも啓発していきたい。</p>
委員	<p>市民への説明会の実施方法についてであるが、要望がきたら何回でも説明対応していくと言っていたが、校区から要望がない限り1回で終わりなのか。</p>
事務局	<p>先程説明した説明会以外に、普段から御達者クラブなどに呼ばれて、今年度だけでもすでに3, 40回は実施している。こういう取り組みは説明会とは別途しているところである。大学のオリエンテーションや専門学校への出前講座等もしているので、同時並行で進めていきたいと考えている。</p>

発言者	発言内容
委員	<p>限られた人数で、今年度だけで160回ということであれば個人的には意欲的だと思う。規模は小さくなるかと思うが、継続的に広報活動を実施していってもらおうということで理解している。その一方で地域様々な取り組みをしており、そこから要請があれば必ず応じてくれたというふうにも理解している。そういう地域に積極的に出かけていくという取り組みと、要請に応じて出かけていくという取り組みの2つをうまく組み合わせ、市民の理解を得られるようご動力いただければと思う。</p>
会長	<p>ほかにはないか。</p>
全委員	<p>なし。</p>
会長	<p>それでは、この件はここまでにして、次は審議事項「(2) 一般廃棄物処理基本計画平成28年度改訂版(素案)の主な内容について」事務局にお願いする。</p> <p>【(2) 審議事項 一般廃棄物処理基本計画平成28年度改訂版(素案)の主な内容について】</p>
事務局	<p>一般廃棄物処理基本計画平成28年度改訂版(素案)の主な内容について説明(約12分)</p>
委員	<p>この素案の中には、災害廃棄物処理計画は含まれておらず、別途作るということでよいか。</p>
事務局	<p>最初の一般廃棄物処理基本計画のタイトルを見ていただきたい。鹿児島市一般廃棄物処理基本計画は、ごみ処理基本計画と生活排水処理基本計画からなり、その外、鹿児島市では防災に関しては、地域防災計画というものがあり、その2つの整合性を図りながら、一般廃棄物処理基本計画とは別に災害廃棄物処理計画を作るということだ。</p>
委員	<p>資料1の2の(3)の一般廃棄物収集運搬業の許可や事業所ごみの適正排出について、事業所がごみを排出するにあたり、従業員がごみの分別の意識を持たないと減量は難しいと思う。</p>
委員	<p>(素案)の、事業系ごみ適正排出、指導・監督というところで、一般廃棄物収集運搬業の許可については、事業所ごみの排出量等を勘案し、適正な許可業者数など、一般廃棄物処理実施計画で方針を定めま</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>すとあるが、適正な許可業者数というのは、今後許可するにあたって、制限を設けるとか考えがあるのかお聞きしたい。</p> <p>今現在、鹿児島市は他都市と比べるとごみの収集業者数が多い。他都市では業者数は限られており、組合にしか許可を出していないところもある。収集運搬して運ぶ量と、事業所から出るごみの量を比較するとすでに許可された業者で足りている状況。業者数が多くなると、単価が下がり、質も落ちる可能性が出てくるため、そのあたりも監督指導してまいりたいと思っている。以前、最高裁の判決があり、許可を出した行政側が裁判に負けたと事例があった。それを踏まえ、環境省から適正な業者数にきなさいと指導があり、本市では指導等調査研究しているところだ。</p>
委員	<p>調査研究の段階なのか。こういう方向で適正化を図っていくということは国の通達としてきているのではないか。</p>
事務局	<p>ごみを運ぶ方がオーバーしている状態であるから、新たに許可を出さなくても既存の業者で対応できるのではないかという話になるが、新たな商売が出て、許可を与えることになるのか調査研究をしているところだ。今後は他都市も全国的に厳しくなってくると思われる。</p>
委員	<p>今は、申請をすれば自動的に許可する形になっているのか。</p>
事務局	<p>専門的知識的の面、経理的な面、施設的な面といういろんな面を総合的に判断して許可を出している。</p>
委員	<p>許可基準が変わってくることはあり得るのか。</p>
事務局	<p>事業系のごみは、平成14年度から市で計画収集しないことになり、収集業者には許可を与えている。</p>
委員	<p>バイオガスの件は、とても有効だと思う。南部清掃工場での計画であるが、北部ではなく、南部の方に全てのごみを持っていくのか。また、都市ガス関係者や大学学識の人などとは話が進んでいるのか。</p>
事務局	<p>北部は平成19年にできた施設であり、バイオガスの施設を設けるスペースもない状況だ。南部は建て替えの時期にあるので、併せてバイオガス施設を設けた。都市ガス関係者とは色々施設のことなど、協議している。</p>

発言者	発言内容
会長	<p>それでは審議事項 一般廃棄物処理基本計画平成28年度改訂版(素案)の主な内容については原案どおり承認するということよろしいか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>それでは原案通りに承認するというにすることにする。その他の事案について、事務局側から何かお知らせ等ないか。</p> <p>【(3) その他】</p>
事務局	<p>本日も審議いただいた一般廃棄物処理基本計画については、市議会に報告し、さらにパブリックコメント手続きにより意見を募り、3月中旬に公表する予定である。パブリックコメントの結果は次回1月に報告させていただきたい。</p>
会長	<p>委員の方からは何かあるか。</p>
委員	<p>南部清掃工場と北部清掃工場は非常に能力が高いという話を聞いたが、そうであれば、ごみを分別しなくても処理できるんじゃないかという話を2か所で聞いた。そうではないと注意したが、市の方からも住民に説明するときはそのようにいってほしい。</p>
委員	<p>技術とは進めばそういうことも可能かもしれないが、それとは別にゴミ全体を減らしていくという目標があり、技術的に可能ということとは一緒にしてもいい訳ではないので、市としては誤解の無いようにした方がよろしいかと思う。</p>
事務局	<p>ごみは最初で分別した方がスムーズに進むので、その方がよろしいと思う。</p>
委員	<p>外にないか。それでは、以上で議事を終了する。</p>